

事務事業名	H22新規 十日市場保育所改修支援事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5277						
			所属課室	子育て支援課		課長名	藤巻喜代子						
			所属担当	保育所担当		担当者名	志村 太						
基本政策	基本計画体系	17	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目		
		28	社会福祉の充実		01	一般	03	02	02	02	00	07	
政策			児童福祉の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業								
施策			児童福祉の充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業								
事業期間		☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	山梨県安心こども基金保育サービス等充実事業 補助金交付要綱								
		☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)											
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 児童の安全で快適な保育環境の充実を図ることを目的に、事業者(十日市場保育園)老朽化した園舎の大規模修繕を行うことに対して補助金を交付する。 (事業費負担割合…県1/2 市1/4 事業者1/4)			事業費の主な内訳 (22年度)									
				項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				建設事業費補助金				18,427					
										計		18,427	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	23年度活動予定
	県補助金事前協議→交付申請→大規模修繕(工程会議)→実績報告	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	老朽化した施設(保育園)、児童	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	大規模修繕が計画どおり実施され、施設の安全性が確保される。 児童が保育園で快適に過ごすことができる。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	安心して子育てができるようになる。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 工程会議の開催回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 施設面積	m
イ 入所児童	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 事業計画進捗率	%
イ 「快適」と感じる児童の割合	%
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 「安心して子育てができる」と思う保護者の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円	12,285							
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	6,142							
	事業費計 (A)			千円	0	18,427	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数			人							
		延べ業務時間			時間							
		人件費計 (B)			千円	0		0	0	0	0	0
		(A) + (B)			千円	0	18,427	0	0	0	0	0
活動指標			アイウ	回		5.0						
			アイウ	m ²		645.0						
対象指標			アイウ	人								
			アイウ									
成果指標			アイウ	%		100.0						
			アイウ	%								
上位成果指標			アイウ	%								
			アイウ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成22年度、県の補助金交付が見込まれることから実施するものである。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	十日市場保育園は昭和56年に改修したもので、耐震基準は満たされていたが老朽化が著しく進んでいた。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設の安全性が確保されるよう、また、児童が快適に過ごせることができるよう要望が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☒ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度限りの単年度事業
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	H22新規 十日市場保育所改修支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 安心して子育てができる環境・体制が整い、働く親、女性の社会活動参画を支援することができる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 国、県でも少子化対策は重要課題となっている。その中でも保育所は、子育て支援拠点施設としますます重要度が増しており、民間保育所への支援は必要である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 補助金交付要綱に従った手続きで事務を行うため事業の進め方など変えることはできず向上余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 影響あり 【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 公立保育所の施設整備・運営に係る国、県補助金は廃止されているが、民間保育所への補助金は存続しているため、民間への支援は充実すべきである。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 工事の発注等については、事業者が行うこととなるが市の入札方法に準じた方法で行うことにより公正公平に行うことができた。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 補助金交付事業のため削減余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 認可保育所の施設整備については、県1/2 市1/4 事業者1/4の負担率で行っており適正である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	山梨県子ども安心基金保育サービス充実事業補助金により、老朽化した施設の大規模改修が行われ、児童の安全で快適な環境整備の充実が図られた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					